



公益財団法人
福島県文化振興財団

ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》

2026

7・8

July・August



福島県文化センター再開館記念
県政 150 周年記念事業

県民劇でたどる 『ふくしまの歴史』

“はま・なか・あいづ”の4劇団が熱演

県文化センター再開館に先立ち、県内で活動する4劇団による福島県の歴史をテーマにした演劇公演を開催。“はま・なか・あいづ”の歴史や人物を取り上げた作品を上演し、県政 150周年を迎えたふくしまの歴史をたどる。

8/29 土

11:00 オープニングセレモニー

11:10 小ホール

劇団ぴ〜ひゃらら
(会津若松市)



明治の兄弟
～山川家の人々～

元会津藩家老で陸軍大佐の山川浩の妹・捨松に持ち上がる薩摩藩出身の陸軍卿・大山巖との縁談。時代に翻弄され、心に深い傷を負いながらも強く生きようとする山川家の姿を描く。

14:00 大ホール

しらかわ演劇塾
(白河市)



おらほの殿さん
～松平定信伝～

名君として知られる第12代白河藩主・松平定信の生涯を舞台化。白河領民のための藩政を行った愛情深い姿を描き、現代に受け継がれる「定信の遺志」に想いを馳せる。

8/30 日

11:00 大ホール他

劇団 120〇 EN
(福島市)



椅子語り

～福島県文化センターの椅子の話～

椅子にまつわる「物語」を売る不思議なお店から、「昭和」の物語の椅子たちが飛び出す。行先は県文化センター。県文化センターや福島市の出来事を題材にした4つの物語を上演する。

各回 30 分前開場

14:00 小ホール

富岡町民劇団
(富岡町)



命を繋ぐ人々

～生きている 生きてゆく～

原発事故に伴うビックバレットふくしまでの避難生活から、再生・復興していく『福島』に希望をもち、未来へと進んで行く町民たちの姿を、朗読と音楽によって届ける。

【会場】 福島市、とうほう・みんなの文化センター（県文化センター）

【料金】 1公演券 一般・大学生 1,000 円、高校生以下 500 円
2日通し券 一般・大学生 3,000 円、高校生以下 1,500 円
(限定 150 枚)

※全席自由

※障がい者手帳提示で補助者 1 名無料

【主催】 公益財団法人福島県文化振興財団

【問合せ】 県文化センター

TEL (024)534-9191 FAX (024)536-1926

MAIL culture@fcp.or.jp

6/29 月 9:00 チケット販売開始

県文化センター管理事務所
にて販売します。

販売開始後は

電話 (024-534-9191) または
Web からご予約可能です。



▲ご予約はこちら

※県文化センター再開館に伴い、7月末に事務所を移転します。詳細は、P7「財団トピックス」をご確認ください。

自主上映

7/11(土)
アサカ理研 郡山中央図書館 映画会
「ピース・ニッポン」

所 郡山市・アサカ理研 郡山中央図書館 時 10:00、14:00
¥ 無料(要整理券) 問 図書館 (024)923-6616

※定員各回当日先着100名。整理券は上映開始30分前から配布。
上映作品は、東日本大震災を経験した映像作家たちが、日本の
風景や文化を後世に伝えるために制作した「ピース・ニッポン」
(2023年、111分)。

8/9(日)
令和8年度田村市文化センター自主文化事業
まちそわシネマVol. 4
「小屋番 ハヶ岳に生きる 劇場版」

所 田村市文化センター 時 13:30、17:30
¥ 一般・大学生500円、高校生以下300円
問 田村市文化センター (0247)82-5030

※自然と命に向きあう人々の知られざる物語を圧倒的な映像
美でつづったドキュメンタリー (2026年、85分)。7月3日(金)
からチケット販売開始。

展 示

開催中～7/12(日)
県歴史資料館収蔵資料展 水郡線応援
「東白川郡の古文書―矢祭町編―」

所 福島市・県歴史資料館 時 9:00～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日
¥ 無料 問 資料館 (024)534-9193

※水郡線活性化を応援するため、同館収蔵の
水郡線沿線地域の古文書を取り上げるシリー
ズ展の第3弾。江戸・明治時代を中心とした
矢祭町にゆかりのある古文書を紹介。



開催中～7/20(月・祝)
菅野 忠 油彩画展

所 川俣町羽山の森美術館 時 10:00～16:00
休 月曜日(7/20をのぞく) ¥ 無料

問 美術館 (024)566-3367
※二本松市在住の画家・菅野忠さんの油彩画を紹介。7月5
日(日)午後2時から作家本人によるギャラリートークもある。

開催中～8/2(日)
陳あらば 猫 mini 町田尚子絵本原画展

所 郡山市・こおりやま文学の森資料館 時 10:00～17:00(最終入館16:30) 休 月曜日(7/20をのぞく)、7/21
¥ 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下・65歳以上無料
問 資料館 (024)991-7610

※全国巡回中の同名展覧会のminiバージョンとして「なまえ
のないねこ」などの猫の絵本に特化した約80点の原画を、制
作資料とともに紹介。同館を題材とした描き下ろし作品も展示。

開催中～8/9(日)
物具(もののぐ)ミュージアム

所 南相馬市博物館 時 9:00～16:45(最終入館16:00)
休 月曜日(7/20をのぞく)、7/21
¥ 一般・大学生400円、高校生200円、小・中学生100円
問 博物館 (0244)23-6421

※甲冑の基本知識をはじめ、開館以来の研究で見えてきた奥州
中村藩主相馬家の甲冑の特色や、近年発見された相馬家所用甲
冑の古写真、中村藩領内で製作された兜などの新資料を展示し、
新知見も加えた見かたを紹介。

開催中～9/27(日)
古文書に見る 伊達の養蚕と村の暮らし

所 伊達市保原歴史文化資料館 時 9:00～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(7/20、9/21をのぞく) 火曜日(8/11、9/22をのぞく)、7/21、8/12、9/24
¥ 一般・大学生210円、小・中学・高校生100円
問 資料館 (024)575-1615

※同館所蔵の古文書類から近世の村人が営む養蚕について紹
介するほか、伊達市所蔵「相定(あいさだめ)」も初公開する。
7月11日(土)午前10時30分と午後2時30分からは同館学芸
員によるギャラリートークもある。

6/27(土)～8/23(日)
20世紀北欧デザインの巨匠
スティグ・リンドベリ展

所 いわき市立美術館 時 9:30～17:00(最終入館16:30)
7・8月の金曜日は20:00まで(最終入館19:30)
休 月曜日(7/20、8/10をのぞく)、7/21
¥ 一般1,200円、高校・大学生600円、小・中学生400円
問 美術館 (0246)25-1111

※20世紀北欧デザインを代表するスウェーデンの陶芸家でデ
ザイナーのスティグ・リンドベリのテーブルウェアなど、約
300点の作品を紹介。

7/4(土)～8/23(日)
白河の表現者 川瀬七緒展

所 白河市・中山義秀記念文学館 時 10:00～17:00
休 月曜日(7/20をのぞく)、7/21、8/10、8/12
¥ 高校生以上220円、小・中学生110円
問 文学館 (0248)46-3614

※白河市出身の作家・川瀬七緒氏のデザイナー時代を含む全作
品を紹介し、創作の歩みを俯瞰する。

7/4(土)～9/23(水・祝)
本濃研太ダンボール彫刻展「僕たちが、いる。」

所 いわき市立草野心平記念文学館 時 9:00～17:00(最終入館16:30)
7・8月の土曜日は20:00まで(最終入館19:30)
休 月曜日(7/20、9/21をのぞく)、7/21
¥ 一般440円、高校・大学生330円、小・中学生160円
問 文学館 (0246)83-0005

※ダンボールで成形し、アクリル絵の具で着彩した、繊細かつ
大胆なダンボール彫刻の動物を中心とした作品約100点を紹介。

7/10(金)～7/12(日)
第22回福島県刻字協会展併催高校生刻字作品展

所 福島市・コラッセふくしま 時 9:30～17:00(初日は13:00から、最終日は15:30まで)
休 会期中無休 ¥ 無料 問 事務局 (090)2794-9727
※県内の作家と高校生による刻字作品を約150点展示する。

7/11(土)～8/30(日)
「いわきの新生代」展

所 いわき市アンモナイトセンター 時 9:00～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(7/20をのぞく)、7/21
¥ 一般260円、高校・大学生190円、小・中学生110円
問 アンモナイトセンター (0246)82-4561

※石炭を採掘していた常磐炭田と同じ地層から発掘された哺乳
類や鳥類の化石を展示。

7/11(土)～8/30(日)
室町時代ふくしまの御所と城館

―足利『兄弟!』の時代―
所 郡山市・蔭山工務店 大安場史跡パーク(大安場史跡公園) 時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 7/13 ¥ 無料 問 大安場史跡公園 (024)965-1088
※須賀川市の稲村に御所を構えた足利満貞と、郡山市の笹川に

御所を構えた足利満直の兄弟が活躍した室町時代の様相を、中
通り地方と会津地方にある御所と城館を取り上げて紹介。

7/11(土)～9/23(水・祝)
開館40周年記念特別展
大恐竜展―新発見の堅頭竜類ザヴァケファレー

所 会津若松市・県立博物館 時 9:30～17:00(観覧チケット販売は16:30まで)
※夜間開館日は19:00まで開館、詳細はHPを要確認
休 月曜日(7/20、8/10、9/21をのぞく)、7/21
¥ 【平日】

(前売)一般・大学生1,500円、高校生800円、小・中学生400円
(当日)一般・大学生1,700円、高校生1,000円、小・中学生500円
【土日祝・指定日】※指定日は8/10、8/12～14
(前売)一般・大学生1,700円、高校生1,000円、小・中学生500円
(当日)一般・大学生2,000円、高校生1,200円、小・中学生600円
問 実行委員会事務局 (024)523-1334

※2019(令和元)年にモンゴル・ゴビ砂漠にある太古の地層か
ら発見された、新属新種「ザヴァケファレ・リンポチェ」の世
界初となる実物化石の公開や生体復元模型展示の他、ティラノ
サウルスなどの大型恐竜骨格レプリカを展示。

7/11(土)～11/15(日)
いわき市市制施行60周年記念事業
奥州三古関 ～歴史と伝承のはざまから～

所 いわき市勿来関文学歴史館 時 9:00～17:00(最終入館16:30) 休 7/15、8/19、9/16、10/21
¥ 一般330円、中学・高校・大学生220円、小学生170円
問 歴史館 (0246)65-6166

※「奥州三古関」と呼ばれる、鼠ヶ関(山形県鶴岡市)・白河
関(福島県白河市)・勿来関(いわき市勿来町)について、歴史
と伝承双方の視点から紹介。

7/15(水)～1/11(月・祝)
サンマの学校

所 いわき市・アクアマリンふくしま 時 9:00～17:30(最終入館16:30)
12/1～1/11は17:00まで(最終入館16:00)
休 会期中無休
¥ 一般・大学生1,850円、小・中学・高校生900円
問 アクアマリンふくしま (0246)73-2525

※開館当初から研究・展示してきたサンマにスポットを当て、
日本人にとって身近な魚であるサンマといわき市との関わりや
歴史、生態や最新の研究など楽しく学べる企画展。

注目
7/18(土)～9/27(日)
開館25周年記念企画展「ふくしまのかお」

県内から出土した考古資料の「顔」たちを一堂に展示

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん 時 9:30～17:00(最終入館16:30)※7/18は10:30開館、11:00開幕
休 月曜日(7/20、9/21をのぞく)、7/21、8/12、9/24 ¥ 無料 問 まほろん (0248)21-0700

※2001(平成13)年に開館した同館が25周年を迎えることを記念し、県内各地の遺跡から発掘された
土偶や埴輪など、「かお」が表現された出土品が大集合。昔の人々はどのような思いを「かお」に託
したのか、多彩な表情を持つ「ふくしまのかお」を紹介する。8月1日(土)、9月19日(土)両日と
も午後1時30分からは、「かお」が表現された考古資料に関する講演と、同館の石川日出志館長との
対談も開催。

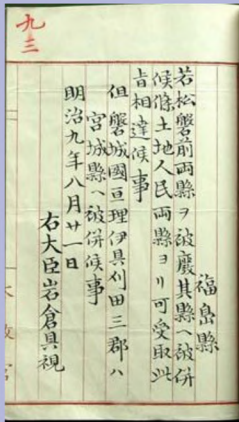


注目
8/8(土)～11/15(日)
県政150周年記念「福島県誕生」

明治・大正期の公文書から本県誕生の軌跡をたどる

所 福島市・県歴史資料館 時 9:00～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(9/21、10/12をのぞく)、9/24、10/13
¥ 無料 問 資料館 (024)534-9193

※1876(明治9)年8月21日、「旧福島県」「磐前県」「若松県」の3県が合併し、浜通り・中通り・
会津にまたがる「福島県」が誕生した。同展では、その誕生に至るまでの経緯と、その後の発展の
様子を知ることができる同館収蔵の「明治・大正期の福島県庁文書」を中心に紹介。本県誕生の契
機となった明治政府の命令書の原本などの展示から、その歴史を読み解いていく。8月16日(日)、
10月24日(土)両日とも午後1時30分からは、同館学芸員による展示解説会を開催。



三県合併の達書
(明治・大正期の福島県庁文書141)

福島県文化センターの公式 YouTube チャンネルでは、施設案内や
当館で開催された催しの様子などをご覧いただけます。アクセスはこちらから→



当館の最新情報や日常の様子を、公式 X Facebook Instagram LINE で発信しています。
アクセスはこちらから→



7/18(土)～9/23(水・祝)

障がい者無料

チケット販売中

KFB福島放送 開局45周年記念 松本市美術館所蔵 草間彌生 版画の世界 ―反復と増殖―

所 福島市・県立美術館

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(7/20、8/10、9/21をのぞく) 7/21、8/12

¥ (前売)一般・大学生1,300円 中学・高校生1,100円、小学生400円 (当日)一般・大学生1,500円 中学・高校生1,300円、小学生500円

問 K F B福島放送(024)933-5856

※世界的前衛芸術家・草間彌生が1970年代後半から積極的に取り組んできた版画に焦点を当てた展覧会。南瓜やドレスなどのモチーフが多く登場する初期作品から代表作「愛はとしえ」シリーズまで約160点を公開。

7/18(土)～11/14(土)令和8年度第2回企画展『いわきの弥生土器』

所 いわき市考古資料館 時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 7/21、8/18、9/15、10/20 ¥ 無料 問 資料館(0246)43-0391

※いわき市内の遺跡から出土した弥生土器の造形と特徴を紹介。10月4日(日)には関連講演会「弥生時代のふくしま・いわき」を開催するほか、8月29日(土)・10月25日(日)両日とも午後2時からは同館学芸員による展示解説会もある。

8/8(土)～10/12(月・祝)土門拳の風貌

所 郡山市・こおりやま文学の森資料館

時 10:00～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(9/21、10/12をのぞく)、9/22

¥ 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下・65歳以上無料

問 資料館(024)991-7610

※人物写真の代表作から、文学者を中心とした肖像写真や土門拳とその写真にまつわるエピソードを紹介。

8/11(火・祝)～8/15(土)第71回 福島県水彩展

所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)

時 10:00～16:00(最終日は15:00まで)

休 会期中無休 ¥ 無料 問 事務局(024)984-4905

※高校生以上の学生と一般からの公募作品、県水彩画会会員、会友の水彩・版画作品を80点以上展示。

県外

開催中～8/23(日)

障がい者無料

宮城県美術館リニューアルオープン 全館コレクションで魅せます 美術の時代

所 宮城県美術館 時 9:30～17:00(発券は16:30まで)

休 月曜日(7/20をのぞく)、7/14、7/21

¥ 一般700円、大学生以下無料 問 美術館(022)221-2111

※開館45周年を迎える同館のリニューアルオープン記念特別展。約7,000点のコレクションの中から選りすぐりの作品を全館で展示。7月15日(水)より後期展。

開催中～8/30(日)

障がい者無料

竹久夢二のすべて 画家は詩人でデザイナー

所 新潟県・新潟市美術館

時 9:30～17:00(観覧券の販売は16:30まで)

休 月曜日(7/20をのぞく)、7/21

¥ 一般1,500円、高校・大学生1,200円、中学生以下無料

問 美術館(025)223-1622

※大正時代を代表する画家・竹久夢二の「クリエイター」としての魅力に焦点を当て、代表的連作「長崎十二景」や「女十題」の原画を展示するほか、表紙原画、小説、千代紙などを含む、作品コレクションを約200点公開する。

講演・講座

7/19(日)美術講座「展覧会の見どころ」

所 いわき市立美術館 時 13:30 ¥ 無料 問 美術館(0246)25-1111

※定員当日先着45名。「20世紀北欧デザインの巨匠 スティグ・リンドベリ展」関連イベント。同館学芸員による、展覧会の見どころを学べる美術講座。

8/1(土)企画展「ふくしまのかお」関連講演会1「どぐうのキホン」

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん 時 13:30 ¥ 無料

講 八木勝枝(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター主任文化財専門員)

問 まほろん(0248)21-0700

※「どぐう」の魅力と謎をわかりやすく解説。同館の石川日出志館長との対談や、講師による展示室でのトークも開催。

8/29(土)まほろん令和8年度第2回館長講演会

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん

時 13:30 ¥ 無料 講 石川日出志(同館館長)

題 遺跡の発掘とは何か 問 まほろん(0248)21-0700

※発掘調査によって、埋もれた遺構や遺物から得られる「情報」から、当時の人々の暮らしぶりをどのように復原するのかについて解説。

その他

7/18(土)・19(日)まほろん開館25周年記念イベント 大感謝デー

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん

時 18日13:00～16:00(開館は10:30)、19日9:30～16:00

¥ 無料(一部体験は有料) 問 まほろん(0248)21-0700

※同館の開館25周年を記念し、「レインボー土偶うちわづくり」「縄文つり体験」「発掘体験ウォーターセパレーションの術」など、2日間限定の特別な体験メニューを開催。7月18日(土)には豪華まほろんグッズがあたる大抽選会もある。詳細は要問合せ。

7/19(日)・20(月・祝)アリオス・オープンディ2026

所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス

時 両日とも10:00～16:00 ¥ イベントごとに異なる

問 アリオスチケットセンター(0246)22-5800

※アリオス全体を回るスタンプラリーやマルシェ、舞台のバックステージツアーや地元競輪選手が自転車をこいでかき氷を作る企画など、さまざまなイベントを開催。一部体験は要申込。詳細は要問合せ。

財団トピックス

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)／福島県歴史資料館

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)文化会館の再開館に伴う事務室の再開について

令和6年7月から改修工事のため休館しております「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)文化会館」は、令和8年9月1日(火)より再開館します。

再開館に伴い、現在の管理事務所を閉鎖し、文化センター事務室での業務を再開しますので、お知らせします。

再開までのスケジュール

休館中

再開館後

管理事務所で営業

移転作業のため営業休止

文化センター事務室で営業

文化センター事務室で営業(通常営業)

福島県歴史資料館臨時休館のお知らせ

収蔵庫・文書庫の特別整理を実施するため、以下のとおり臨時休館します。ご不便をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

7月14日(火)～7月20日(月・祝)※7月21日(火)は休館日

【お問合せ】

県歴史資料館 TEL(024)534-9193 FAX(024)534-9195 メール history@fcp.or.jp

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)取り扱いチケット				
※6月10日現在、プレイガイド窓口で取り扱っているチケットは以下の通りです。				
【県文化センター】				
イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
演歌熱唱!夢の競演	大ホール	9月11日(金)10:30	《全席指定》 S席6,000円	ミキ・プロモーション(090)8788-3839 オカダ・プランニング(0225)22-0934
ひとりモノマネ紅白歌合戦 青木隆治 25th Anniversary LIVE ―encore―	大ホール	10月4日(日)14:00	《全席指定》 S席6,500円、A席6,000円	MIN-ON仙台(022)355-4772
チャイコフスキー・バレエ劇場「白鳥の湖」	大ホール	1月5日(火)18:30	《全席指定》 S席11,000円、A席8,000円 B席6,000円 車椅子席S席11,000円 付添席S席11,000円	光藍社チケットセンター(050)3776-6184
【県文化センター以外の会場】				
イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
2026ふくしま太鼓フェスティバル	須賀川市・須賀川しんきん文化センター(須賀川市文化センター)	7月12日(日)10:00	3,000円	福島民報社事業局(024)531-4171
KFB福島放送 開局45周年記念 松本市美術館所蔵草間彌生 版画の世界 ―反復と増殖―	福島市・県立美術館	7/18(土)～9/23(水・祝) 9:30～17:00(最終入館16:30)	一般・大学生1,300円 中学・高校生1,100円 小学生400円	KFB福島放送(024)933-5856
ヴァイオリンの名器!テレビからではわからない! 「ストラディバリウス」の実音を聴いたことはありますか?	福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)	7月20日(月・祝)13:30	《全席指定》 SS席5,000円、S席4,000円 A席3,000円	事務局(024)545-4486

スポットライト

— 今、注目のイベント情報

第十回市民参加のてづくり舞台 音楽劇「風濤記～会津人・郡寛四郎～」

激動の時代を生きた会津人を描く 市民の力で創るオリジナル舞台

#20 演出家 海野 馨さん／會津風雅堂 職員 山宮 勇さん、上野 佑真さん

「市民参加のてづくり舞台」は、会津地域の人物や出来事をテーマに演劇作品を創り上げる住民参加型の舞台公演だ。1996(平成8)年の第1回から約3年に1度のペースで開催し、今年8月の公演が第10回の節目となる。

今作は会津出身の劇作家・沖田有さんの書下ろしで、日本人で初めて欧州航路の船長を勤めた会津の船乗り・郡寛四郎を主人公にした音楽劇。大正2年に起きた孫文の亡命事件の史実をもとに、「時代に翻弄されながらも一瞬一瞬を懸命に生きた人々の尊い姿」を描く。

公募で集まった中学生から70代までの33名が、昨年11月から稽古に励んできた。参加者たちは公演に出演するだけでなく、オリジナル音楽の制作や音響・照明の操作、広報などの裏方もこなす。演出家の海野さんは、「それぞれの人生を持った人たちが集まり、一つの作品を創り上げていく過程そのものが市民劇の魅力」と語る。

事務局の會津風雅堂の職員2名もキャストに名を連ねており、今回が初参加の上野さんは、「はじめは戸惑いもあったが、今は演劇の楽しさを実感している」と話す。日ごろ



稽古に励む参加者ら

から地元の劇団で活動する山宮さんは、「公演を見た人が『自分も演劇に携わってみたい』と感じてくれたらうれしい」と期待を寄せる。

出演者たちは、「歌とダンスを交えながら演じるのは苦勞も多いが、稽古を重ねる度に舞台がどんどん出来上がっていくのが面白い」と本番に向けて熱気が高まっている。海野さんは、「今作は海を知らない会津人が海に人生を求めたところに口マンがある。劇場の大きさを超えて海の広がりを感じられるような、躍動感のある舞台を目指していきたい」と語る。



事務局とキャストを務める山宮さん(左)と上野さん(右)

第十回市民参加のてづくり舞台 音楽劇「風濤記～会津人・郡寛四郎～」

日時: 8/8(土)18:30

8/9(日)14:00

会場: 会津若松市・會津風雅堂

料金: (前売)一般 1,500 円、大学生以下 500 円
(当日)一般 1,700 円、大学生以下 700 円

問合せ: 會津風雅堂
(0242)27-0900



公益財団法人

福島県文化振興財団

【問合せ先】〒960-8115 福島県福島市山下町1-25

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所

TEL(024)534-9191 FAX(024)536-1926